



新年のご挨拶.....	2
診療科紹介 循環器内科.....	6
職場紹介 リハビリテーション科.....	7
大分医療センターの臨床研修.....	7
第72回 国立病院総合医学会	8
診療放射線技師会学術大会 優秀発表賞受賞	9
津波避難訓練.....	9
2018健康フェア	10
ひかり保育園のハロウィンパレード.....	11
アルメイダ病院・津久見中央病院との 医療安全対策地域連携.....	12
新任挨拶.....	13
人事異動.....	13
編集後記.....	13
外来診察医担当表.....	14



大分縣護國神社（撮影：管理課 亀之園照彦）

2019年 新年の挨拶



院長
穴井 秀明

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆さんも新たな気持ちで平成の時代から変わる新たな年を希望と期待を持って迎えのことと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年1年間を代表する漢字一文字は「災」という漢字が選ばれました。世界的に見て地球温暖化に伴う豪雨、酷暑、台風、地震など自然の猛威による災害や災難に襲われた1年でした。

まずは昨年、平成30年を振り返ってみたいと思います。当院は平成29年12月に地域包括ケア病棟を立ち上げ、平成30年3月に3度目の病院機能評価を受審し幸いにも一発で合格いたしました。

病院の情報発信は院内広報誌と院外広報誌の2つの広報誌を一つにまとめて「あいしん（愛心）大分」という新しい広報誌に統一しました。また大分東部地域の“がんセンター”的役割として当院のがん診療関係の全ての業績を「がん年報」として、まとめたものを平成30年2月に創刊しました。この「がん年報」も「あいしん大分」と同じように、一般の方から、医療職の方まで誰でもご覧になれるように編集しています。

2月からは救急ワークステーションの運用も始まりました。これは月のうち平日5日間、救急隊の方が病院に常駐し救急要請があれば直接出動するというシステムです。お互いに有意義な関係ができあがっています。当院の院内実習後、救急現場における点滴のルート留置率が飛躍的に上昇したという報告もあり、実習現場の当院の職員も大変喜び、モチベーションも上がりました。

地域に溶け込む目的で8月には初めて地元大在の納涼盆踊り大会に約50人の職員と参加しました。事前に4回ほど踊りの指導者に来ていただいて練習をしました。おかげさまで「楽しく踊ったで賞」という賞と景品をいただきました。

また10月27日（土）には多くの職員の希望もあり初めて病院内で大々的な病院祭り「健康フェア」を開催しました。コンサート、出店、講演、健康チェックなどいろんな企画で、400人くらいの来場者があり、初めての企画にしては大成功でした。

さて、ある土曜の夜、くつろいでテレビを見ていました。その番組は「世界ふしぎ発見！」です。内容は東京にある超一流の帝国ホテルにまつわるふしぎ発見でした。その中の一コマに、和服を着た上品な女性が登場しました。その方の発した一言に私は体がビビッときました。

その言葉とは「 $100 - 1 = 99$ ではなく0なんです。」という言葉でした。これは「 $100 - 1 = 0$ の法則」といわれるものでした。または「サービスの方程式」とも言われますし「最小律の法則」とも言われます。つまり、全体の一番低い水準のものが全体の水準を決定してしまうという法則です。例えば、100人の従業員がいた場合、99人が素晴らしい接客をしていても、残りの1人がだめな接客をした場合、お客様はその評価を「0」にしてしまうというものです。

「帝国ホテルのサービスの教訓」といわれています。

「 $100 - 1 = 0$ の法則」をインターネットで調べてみますと、別の見方もありました。それは「安全の方程式」とも言われています。これは、環境と安全に影響する大事故を1つ起こせば、すべての企業努力はゼロになるという意味もあります。例えば、仕事をしている100人のうち、1人がクレームや事故を起こしてしまうと、これまでに積み上げた成果の全てがゼロになってしまうということです。

ホテル等のサービス業や企業も我々を取り巻く医療の世界も状況は全く一緒です。患者さんに対する接遇や医療安全の面、下手をすると医療の世界では「 $100 - 1 = 0$ ではなく院内暴力や訴訟などのマイナス」になり得ます。

基本理念の“「愛の心・手」で病める人々に寄りそう医療”を以て、安全、安心、最良の医療を提供し、 $100 - 1 = 0$ にならないように努力していきたいと思っています。

今年計画しています大きな事業は24時間対応の訪問看護ステーションの運用と創立40周年記念事業です。職員の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

今年は亥年で、目標に向かって猪突猛進で、皆様にとって、また病院にとっても素晴らしい年でありますようにお祈り申し上げます。

新年の挨拶 2019



副院長
奈須 伸吉

みなさま新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新体制での病院改革2年目、病院経営がようやく底打ちした年でした。2010年をピークに経営は徐々に悪化し、特に過去3年間は赤字に転落しました。しかし、2017年末の地域包括ケア病棟開設と病棟再編などを経て、濃い霧の先にほんのりと明かりが見えてきたところです。そして2018年には、当院で初めての、健康フェア、TQMが行われ、その他にも病院を活性化する新たな取り組みが色々行われました。この困難な時代の中、当院の職員はよく頑張っていると思います。

司馬遼太郎著「坂の上の雲」には、まことに小さな国（日本）が開化期をむかえようとしている・・・このながい物語は、その日本史上類の無い幸福な楽道家たちの物語である・・・楽道家たちは、そのような時代人としての体質で、前をのみ見つめながらあるく。のぼってゆく坂の上の青い天に一朵の白い雲がかがやいていとすれば、そのみをみつめて坂をのぼってゆくであろう。と有ります。

現代は、あらゆることが煮詰まって混迷を増し、ある意味楽天的であった明治期とは違います。しかし、この時代だからこそ、2019年のNHO大分医療センターは、明治の良い所には倣い、そのようにふるまうべきだと思います。長く続いた下り坂はもう降りきって、これからは上り坂が続くなどと良いことは言えませんが、とにかく職員が明るくみな手を取り合って、ゆっくりと坂をのぼってゆこうとする気持ちが大切です。

今年は亥年、私にとっても転換期で重要な年です。大分医療センターもり上げ隊の一隊員として、患者さんのため、職員のため、NHO大分医療センターのために、建設的な活動を地道に継続いたします。みなさま今年もどうぞよろしくお願いいたします。



もり上げ隊は、
患者さんのため、病院のため、
そして職員のために、
大分医療センターを元気にする
有志の部隊です。



隊員からの建設的な提案がたくさん実現しました！

地域密着型の健康フェア

ホームページの刷新

夏祭り

病院敷地パトロール隊

TQM

広報誌バックナンバー

病院正門の美化

あいさつ励行

憩いの広場の活用
地域のギャラリー

病院フェイスブック

中庭の美化

広報・宣伝の強化

隊員のみんな、ありがとう！

新年のご挨拶

みなさま、あけましておめでとうございます。昨年は、大変お世話になりました。今年も精一杯尽力させていただきますので、ご指導ご鞭撻をいただければ幸いです。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

多くの人々と同様、私も平成まで改元を経験したことはありません。福岡市立こども病院で「昭和最後と平成最初の乳幼児達」を相手に悪戦苦闘していました頃、「新しい元号は、『平成』であります。」と当時の内閣官房長官の小渕恵三さんの色紙を医局のテレビで見たのを覚えています。平成の世の中になっても、急に時代が変わった感もなく、なんとなく昭和が続いているような感覚のまま、時は過ぎ、いつの間にか「昭和最後と平成最初の乳幼児達」は、すでに、社会の中堅としてバリバリと活躍し、社会を担う時代になっているのは事実です。昭和生まれの人たちへ「平成生まれだと感じる言動」をアンケートしたものがあります（昭和生まれということでは29～93歳くらいまでを一括するというのに無理はありますが、）。「すごい、感動などの意味で『ヤバイ』と言う。」これは



統括診療部長

中村 雄介

よく聞きますね。平成生まれでない人も使ってますね。「固定電話を持っていない。」昭和の時代は電話があるだけでステータスだった時代、一家に一台固定電話があるのが当たり前の時代、留守番電話の時代、そして一人一台の携帯電話の時代となりました。「Newsは新聞よりNetで見る。」昭和の時代は新聞を毎朝読むのが必須？（TV欄かもしれませんが）でした。平成では新聞は購読せず、Internetで見る。記事が途中から有料になるのは困ります。新聞やTVのNewsもsourceはGoogleMap、Twitter、FaceBook、Youtubeのことも多く、マスコミのNewsを集める資金力も変化してきていることがうかがわれます。改めて書き出して見ると、多くの変遷を見つけることができます。昭和から平成へは境目は見えませんが、明らかに変わってきていたのですね。

医療センターも徐々にですが、今後も変化していきます。元号が変わる年だけでなく、地道ではありますが継続的に、「寄り添う医療」を目指していきたいと思います。応援よろしくお願い致します。

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成30年は大阪北部と北海道東部の地震災害、台風などによる豪雨被害や猛暑、熱中症などの自然災害や気候に関する話題が多い年であったと思います。大分では、行方不明の男児を発見した尾畠さんがスーパーボランティアと称されたり、大分トリニータが6年ぶりにJ1復帰するなど明るい話題がありました。大分医療センターでは、病院機能評価受審、地域包括ケア病棟の健全な運営、経常収支率100%以上を目指し、職員の皆さまにはご協力して頂きまして感謝申し上げます。ありがとうございました。おかげさまで、今年度11月までの経常収支率は100%を若干上回った状況で黒字となっております。昨年度と比較して経営状況は改善しつつありますが、今年度の目標である「経常収支率100%以上」を達成するためには、あと3ヶ月もう一踏ん張りしなければなりませんので、引



事務部長

國分 克典

き続きご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年は亥年です。「亥」は、猪肉の栄養価が高く病氣予防になることから、無病息災の象徴とされています。風水でも猪は、無病息災の象徴で、また目標に向かって猛進していく人を助ける「火の神の化身」とされています。

亥年を迎えると働き方改革が本格的に動き出し、10月には消費税が8%から10%にアップし、病院運営はますます厳しい状況になります。この厳しい状況の中、今年度の病院の大きな事業である「訪問看護ステーションの開設」や「病院情報システムの更新」などを推し進め、経営改善を図り経常収支率100%以上の目標に向かって、猪のように猛進していききたいと思いますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

最後に、今年5月には平成から年号が変わり新しい時代が始まります。新しい時代が職員の皆さまや病院にとって良い年となることを祈念いたします。

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、虎の門病院看護部が編集した「看護管理者のコンピテンシー・モデル」を活用して、看護管理者である看護師長のマネジメント能力を高めることを目標に取組みを行いました。その理由は、著書の中でも述べられていますが、看護師長自身が目指すべき姿を明らかにし、自らの長所や短所を再認識することによって行動変容に繋がることを、期待したからです。

先ず看護師長全員で、コンピテンシー・モデルの概要について理解を深め、次に過去の事例（スタッフ指導の場面や委員会活動の場面等）を通して自らのコンピテンシー（行動特性）の振り返りを行って貰いました。そして、グループでの意見交換を行い、最後に分かちあうための全体討議を行いました。段階を踏みながら他者の意見を聴くことによって、自らの行動についての振り返りを促しました。年度途中の10月には、中間報告の場を設け、看護師長各自にどのような意図



看護部長
佐 保 美恵子

をもって、どのように行動しているのかを発表して貰いました。「なぜそうしたのかを説明できない」時は、コンピテンシーを発揮できていないことの気づきを促し、改めて自らの考えや行動について考えることを繰り返し、意識することを促しています。まだまだ看護管理者として意識する行動には課題がありますが、引き続きこの取組を行い、成果に繋げたいと思っています。

今年の干支は十二支最後の「亥」です。十二支には、それぞれに季節が割り当てられており、亥の季節は冬だと言われています。じっと固い種の中でエネルギーを内にこめ、春の芽吹きを待つ。そこで、内部の充実を心がけることを意識しながら（コンピテンシーを発揮して）、外に向けての活動を行っていききたいと思います。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

大分に赴任して2回目の正月を迎えることができました。

2年目を迎えるにあたり、一つの目標を立てました。地域の薬剤師の皆さんと少しでも顔見知りになることです。なかなか大分市中心部で開催される研修会や勉強会に顔を出すことができず、もやもやしていました。まずは大分医療センターの周りの薬剤師の方々と気楽な関係になれないかと不定期ではございますが、しばらく開催されていなかった勉強会を病院内で再開することといたしました。少しずつ定着しつつあります。

また、昨年から取り組んできたNHO PADという薬剤師の能力開発プログラムの利活用について学会で発表したところ、少し評価をいただき、不思議な手ぬぐいをいただきました。2年の準備期間を経て4月からは本格的に実践する予定です。



薬剤部長
吉 野 裕 統

この数年この時期になると、病院の中の薬剤部、薬剤師として、昨年の今頃と比べて今年はどうだったかなあといろいろ考えます。停滞していなかったかなあ、何か挑戦したかなあなど。一度に大きなことはできないので、小さく始めてひたすら継続しながら・・・を一番に考えます。たぶん来年の今頃も同じことを考えています。

そんな中、昨年は朝ドラの「半分青い」の天真爛漫な主人公の生き方を見ていて、街に出かけるときは少しでも意識して青いシャツを着てみました。

猪突猛進に憧れます。せいぜい猪口才といわれる程度です。永年勤続30年でいただいた銀杯をお猪口にしてお酒を飲んだら真っ黒になりました。

本年もどうぞよろしくお願いします。



循環器内科

Cardiology

循環器内科部長
有川 雅也



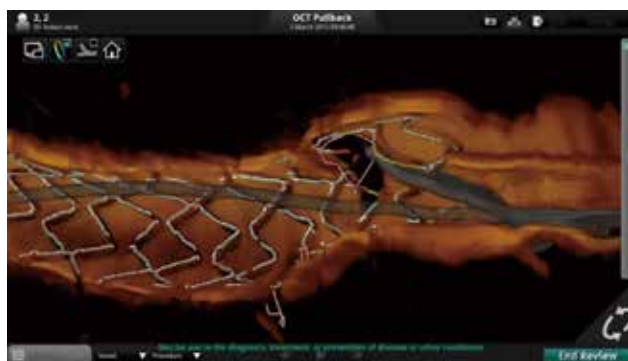
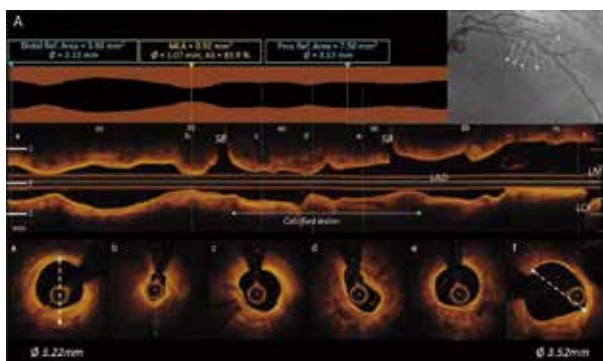
大分医療センター循環器内科は、循環器専門医研修施設であり、4名のスタッフで循環器疾患一般の診療にあたっています。特に、①心血管救急医療、②虚血性心臓病（狭心症・心筋梗塞）のカテーテル治療、③高齢者の心不全診療、を中心に診療しています。

①心血管救急医療

急性心不全、虚血性心臓病、不整脈などの循環器疾患は一刻を争う病気のため、24時間オンコール（医師、看護師、放射線技師、検査技師、臨床工学士）で診療しています。必要があれば、緊急心臓カテーテル検査、治療を行います。

②虚血性心臓病のカテーテル治療

当科では、光干渉断層法（OCT）を用いたカテーテル治療を積極的に行っています。OCTとは、超音波の代わりに近赤外線を使用した血管内断層画像診断法であり、従来の血管造影検査のみ、または、血管内超音波（IVUS）と比較して、より詳細な冠動脈壁構造を観察しながらのカテーテル治療が可能となりました。（図参照）



③高齢者の心不全診療（「心不全パンデミック」に向けて）

我が国は超高齢化社会を迎え、心臓病の終末像である心不全が急増しており、近い将来、「心不全パンデミック」が懸念されています。このような状態に対応する診療体制と、患者さん一人ひとりに適した心不全治療（薬物療法、心臓リハビリテーション）をチーム医療で実現していきます。

当院、および、当科では24時間断らない医療を目指しています。何かお困りの症状があれば、いつでもご連絡ください。



職場 紹介

リハビリテーション科



畳の上で正座や立ち上がり等の練習をすることができ、ライフスタイルに合わせて練習ができます。

身の回りの事ができるようになるため、手すりの高さ等をお一人お一人に合わせて練習ができます。



炊事や掃除など、家庭内での役割を再獲得するための練習ができます。

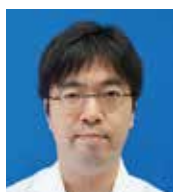


- リハビリテーション科では、4月より、理学療法士と作業療法士が各1名増員しました。
- リハビリテーション科の設備も充実してきました。

今まで以上に生活に必要な作業の不安が解消されるように取り組めるようになりました。

(理学療法士 今村 健二)

大分医療 センターの 臨床研修



臨床研修医 近藤 嘉彦

大分大学医学部附属病院のたすき掛けコースの一環として昨年10月より12月までの3か月間、大分医療センターで2年目臨床研修医として勤務しておりました。現在は大分大学医学部附属病院でふたたび臨床研修医として勤務しております。大分医療センターでは消化器内科、呼吸器内科の2科をローテーションさせていただきました。大学病院では経験できない急性期のプライマリ・ケアを数多く経験できたことや、大分県の二次医療圏の医療の現場を実際に経験できたことはとても大きな財産となりました。

丁寧に指導して頂いた先生方、さまざまな相談に応じて下さったスタッフの方々、そして快く診療に協力して頂いた患者さん達には本当に感謝しております。短期間ではありましたが大分医療センターの研修で得たこの経験を糧にして、これからもみなさまとともに歩んでいきたいと思っております。本当にどうもありがとうございました。

第72回 国立病院総合医学会

ベスト口演賞いただきました

薬剤部 吉野 裕統

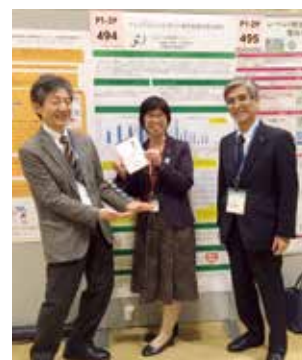
11月の国立病院総合医学会で発表したところ、ベスト口演賞がついてきました。発表のお題は「NHO PAD 支援者・教育者向資料作成と評価」となにより聞きなれないアルファベットが登場します。「国立病院機構薬剤師能力開発プログラム(NHO PAD (Pharmacist Ability Development))」。平成28年2月に配布されました。各施設でOJTに活用するのが主な目的です。ところが、このNHO PADはOJTにうまく活用されていない現状があります。産能大学の調査によると、OJTの問題点は(1)指導する側の時間の問題、(2)指導する側の能力の問題、(3)教育の重要性が浸透していない、の3点を挙げています。そこで、GIO(一般目標)に付随するSBO(行動目標)374項目の一つ一つについて解説書を作成することにしました。朝の数分間で話すことにしています。現在までに200本を超えました。あと一息です。このようなことを発表させていただきましたところ、学会のプログラムが“薬剤業務の質向上”であったことと、座長の趣味が一致したことで、ベスト口演賞に選んでもらいました。継続には結構なエネルギーが必要です。この原動力は大分医療センターの雰囲気と幹部の方々が病院の隅々まで見渡している現状を目の当たりにしていることにあります。人材育成の一つになると信じて種を蒔いているつもりです。10年後、20年後、次世代、花開くことを期待しています。



国立病院総合医学会ベストポスター賞受賞

医療安全管理係長 安藤万寿美

第72回国立病院総合医学会が、神戸にて11月9日から11月10日の2日間で開催されました。医療安全推進部会から「ナイス0のインシデント報告推進の取り組み」をポスター発表させて頂きました。発表内容は、ナイス0のインシデント報告を推進したことで、「報告件数が増加した。」「報告件数は増加したが、患者影響レベルの3b以上の報告は減少した。」「全部署・あらゆる職種から報告がされるようになった。」これら成果があったことを発表しました。職員表彰にて院長から表彰状を授与されることや個々のモチベーションを高め医療安全の推進の一助になっていることなどが評価され、ポスター賞を授与することができました。職員皆様からの報告があつての受賞だと感謝します。これからも、ナイス0のインシデント報告を推進し、安心・安全な医療の提供に努めていきたいと気持ちを新たにしました。ありがとうございました。



部署	職名	氏名	ポスター・口演	演題
医局	統括診療部長	中村 雄介	ポスター173	去勢抵抗性前立腺がんに対するα線核種ラジウム放射線医薬品(ゾーフィゴ)の初期使用経験
	研究検査部長	森内 昭	ポスター123	肺腺癌早期発見のために: GGO / 腺癌の多発した症例の病理・細胞診所見の解析: 「核の膨隆サイン、NSB」 陽性の肺腺癌前駆細胞の存在
看護部	医療安全管理係長	安藤万寿美	ポスター67	ナイス0のインシデント報告推進の取り組み
	5階病棟副看護師長	後藤ちあき	ポスター69	口答指示マニュアルの遵守率向上への取り組み
	がん性疼痛看護認定看護師	廣田 紘子	ポスター42	看護部緩和ケア委員会の立ち上げと今後の課題
	外来副看護師長	高橋 知子	ポスター24	がん化学療法治療における皮下用ポート及びカテーテルの管理方法の統一
	5階病棟看護師長	田口 美保	ポスター113	地域包括ケア病棟立ち上げに向けた看護師育成の取り組み
	2階病棟副看護師長	高瀬 由香	ポスター30	看護師教育 off-JT と OJT の連動
	外来看護師	佐藤 晶子	ポスター222	塩化ラジウム治療 (RI 内用療法) を受ける患者への生活指導と今後の課題
	感染管理認定看護師	三重野純子	ポスター190	2度目のインフルエンザアウトブレイクを経験して
放射線科	R I 検査主任	増井飛沙人	ポスター218	ラジウム223の SUV 算出に向けた基礎検討
	撮影透視主任	出水 健教	ポスター222	リニアックの装置の偏向マグネット制御の違いによる焦点直径の比較
薬剤部	薬剤部長	吉野 裕統	口演19	NHO PAD 支援者/教育者向資料作成と評価
検査科	臨床検査技師	花木 祐介	ポスター187	当院における検査技師による検体採取業務の実際



診療放射線技師会学術大会 優秀発表賞受賞 10月13日

鹿児島市勤労者交流センターにて開催された平成30年九州国立病院機構診療放射線技師会学術大会で発表した「高エネルギー放射線発生装置（リニアック）メーカー3社のスリット法による焦点直径の比較」が優秀発表賞に輝きました。

この学術大会は、年に一度九州国立病院機構の全施設の技師が一堂に会し、日ごろの研究の成果を発表するものです。今回も九州各施設の応募の中から31題が選ばれ発表し、その中で優秀と認められた3題に優秀発表賞が贈られました。

本研究は、放射線治療を行う際に一番重要な「標的のがんに対して、いかに最適な線量分布をつくりだすか」という命題に、最も影響を及ぼすのは焦点の強度分布であると考え、今まで明らかにされていなかった焦点直径の測定を行いました。これには当院の装置メーカーだけでなく別府医療センター、佐賀病院の協力も得て他社メーカー2社の測定も行いました。結果、各装置メーカー特有の焦点サイズが推測でき、円形のもの、楕円のもの、大焦点のものなど、出力の制御法によりサイズが異なることが解りました。これは、これからのリニアックの品質管理の発展に役立ってくれると考えます。



優秀発表賞受賞

放射線治療に対し日々たゆまぬ努力を続けることが我々放射線治療に携わるスタッフの使命であると考えます。これからも大分医療センターの放射線治療の品質向上のために研究に臨んでまいります。今回、この研究にご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

（放射線治療専門技師 出水 健教）



津波避難訓練 11月1日

南海トラフ地震とそれに伴う津波発生時の避難を机上シミュレーションで訓練しました。想定は震度6強の地震が発生。その1時間後に2mの津波が病院敷地を襲うというものです。

1階、2階病棟の患者さんと外来で帰れなくなった患者さんを上層階に避難させます。



自力で階段を登れない方は担架を使って3階へ、補助があれば階段を登れる方は4階へ、1人で階段を登れる患者さんは5階へ避難してもらい院外搬送が必要な患者さんを決定するまでを訓練目標としました。なんとか時間内に全員を避難させ、できる限りの水と食料、医薬品を3階に持って上がることができましたが、やはり多くの問題点が見つかりました。



今後はこれらの問題点を改善して万が一に備えるマニュアルの作成を行なっていきます。（近日公開予定）

次回は多数傷病者受け入れ訓練の予定です。多くの皆様のご参加と多くのご意見をいただけると幸いです。

（麻酔科部長 岩本亜津子）

今年から、
病院開催です！



大分医療センター



2018

健康フェア

10月27日(土)



院長先生の開催のあいさつ。
大分かぼすマスコットキャラクター**かぼたん**も
大はりきり。この日はかぼたんの誕生日でした。



開場早々にたくさんの来場者が訪れ驚きました。



ぼくらちびっこ 薬剤師(やくざいし)

5才から14才までの「ちびっこ薬剤師体験」。
興味で輝いた目が印象的。

顕微鏡の中を覗いてみよう

おしっこを顕微鏡で覗いたよ！



ちやいろの茶色いものが、からだの中の細胞だよ。
まわりに、ちいさいつぶつぶが付いているのがわかるかな？これが細菌だよ。

この、あおいボールのようなものは「リンパ球」だよ。



毎日の健康は食事から **栄養相談**

「サイダーにこげん砂糖入っちゃうの～！？」
食生活を見直す機会になりましたか？
来年も栄養相談コーナーでおまちしております。



ご来場のみなさまの声

- たくさんのコーナーがあってビックリしました。小さな子がいて、ゆっくり回れませんでした。また開催されたときは健康についても相談してみたいです。
- お年寄りからちびっこまで楽しめたり興味が持てる内容も盛りだくさんで地域にとけこもうとする病院の姿勢がありがたく感じました。
- 病院は怖いところのイメージですが、フェアを通してスーパーのような感覚を受けました。CTのすばらしさを知ることができました。
- 病院内で行われたので病院を身近に感じることができました。子供たちの体験できるブースもあって楽しかったです。
- 順番の列がわかりにくい。狭いスペースだけど並び方の工夫が必要と思いました。
- 予約がいっぱいで、肺、血管年齢等おそくいったらなにもできない。実施方法を検討してもらいたい。

たくさんのご意見、ご感想、
ありがとうございました。
次回の参考にいたします。

医療サービス向上委員会



大在中学校合唱部のみなさん。
元気な歌声で盛り上げてもらいました。



フルート：須賀中美枝さん、ピアノ：波多野典子さん
によるオータムコンサート



講演：「胃がん・大腸がん・乳がんの治療について」



講演：「心臓病の治療について」

10月30日(火) ひかり保育園の ハロウィンパレード

こんにちは、ひかり保育園です。病院内で働く方々のお子様をお預かりし、安全な環境の中で日々保育に努めながら、行事への取り組みも大切にしています。今年もふれあい運動会ではたくさんの応援を頂き、ハロウィンでは病院にお邪魔をしてダンスをしたり、楽しい時間に子ども達も大喜びでした。院長先生はじめ病院関係者の皆様の温かいお気持ちに心より感謝をしています。これからも保護者の皆様のお仕事と育児の両立のお役に立てよう、子ども達と笑顔で過ごしたいと思います。

ひかり保育園

師長さんが作った
怪しいお屋敷、
今から探検に行くよ

いくつかのダンス
を踊ったよ

院長先生から
お菓子をもらったよ



アルメイダ病院・津久見中央病院との 医療安全対策地域連携

平成 30 年診療報酬改定により新設された医療安全対策地域連携にて大分市医師会立アルメイダ病院と津久見市医師会立津久見中央病院と連携を取ることとなりました。この医療安全対策地域連携の目的は、相互の医療連携を強化しながら、それぞれが有する医療機能を効果的に発揮することにより、地域連携を確保するとともに、相互の医療水準をたかめることを目的としています。



大分医療センター⇒アルメイダ病院を訪問

7月31日；アルメイダ病院に出向き取組み内容を確認しました。

多職種とのカンファレンスが計画的に実施されていました。また、薬剤管理では2日間で院内処方での対応やポリファーマシーカンファレンスなど安全な薬剤管理がされていることなどを確認できました。



アルメイダ病院⇒大分医療センターを訪問

10月3日；当院の取組み内容をアルメイダ病院の方より確認してもらいました。

病棟、薬剤部、放射線科、検査科、栄養管理室、臨床工学室などを訪問してもらいました。当院の医療安全の取組みをそれぞれの部署で一生懸命説明しました。



大分医療センター⇒津久見中央病院を訪問

11月19日；津久見中央病院に出向き取組み内容を確認しました。

各種マニュアルの整備や物品管理・薬品管理など、少人数ながらも色々な工夫を重ねて医療安全の取組みを推進していることを確認することができました。

現場に出向き確認することで、それぞれの施設の医療安全の取組み状況を確認することができ、とても良い刺激を受けました。今後もこの活動を通して、医療安全の水準を高められるよう努力したいと考えます。

医療安全管理係長 安藤万寿美

新任挨拶



整形外科部長
田畑 知法 (たばた ともりの)

運動器の疾患・外傷に対する治療を通じて地域医療に貢献したいと思っています。何でも相談して下さい。

人事異動

退職・転出等

発令事項	発令日	職 名	氏 名	備 考
退職	30.12. 8	外来看護師(非常勤)	立花 薫	
退職	30.12.31	整形外科医長	丸井 研吾	
退職	30.12.31	外来看護師	山下 和代	

発令事項	発令日	職 名	氏 名	備 考
退職	30.12.31	4階病棟看護師	塩月 菜里	
退職	30.12.31	外来看護師(非常勤)	大戸 悦子	
退職	30.12.31	ホットステーション事務助手(非常勤)	首藤 邦予	

採用・転入等

発令事項	発令日	職 名	氏 名	備 考
院内配置換	30.10.16	外来看護師	種崎小百合	育休復帰
院内配置換	30.10.22	外来看護師	吉田 奈美	育休復帰
院内配置換	30.11. 1	外来看護師	佐藤 真美	育休復帰
院内配置換	30.11. 1	5階病棟看護師	木津 香菜	育休復帰

発令事項	発令日	職 名	氏 名	備 考
院内配置換	30.11.26	手術室看護師	奥苑 有希	育休復帰
採用	31. 1. 1	整形外科部長	田畑 知法	大分大学医学部
院内配置換	31. 1. 1	ホットステーション事務助手(非常勤)	佐藤あゆみ	地域医療連携室

基本理念

「愛の心・手」で
病める人々に寄りそう医療

基本方針

- 一 365日24時間断らない診療を目指します
- 一 大分県地域医療支援病院として、地域へ貢献します
- 一 大分県がん診療連携協力病院として、がん診療の充実に努めます
- 一 垣根を越えた連携によるチーム医療の充実に努めます
- 一 地域に根ざした積極的な広報活動と情報発信に努めます
- 一 安定した医療を提供するため、健全経営を志向します

大分医療センターのロゴマークについて



全体のコンセプト

Oita National Hospital (旧国立大分病院)の頭文字をロゴマークの形であらわしており、さらに「O」は病院の所在地である「大分市」及び「大在」の地名を示している。これを、海・空・太陽・緑の大地を立体的に示す色合いで表現したものである。

「緑と赤」… 昇る朝日と緑豊かな大分の地を表す。
「青」……… 大分医療センターのシンボルカラーを示し、私達医療従事者を表す。
「黒」……… 地域と大分医療センターを結ぶ架け橋を表す。

編集後記

明けましておめでとうございます。今年も広報誌「あいしん」をよろしくお願い致します。

それにしても、平成30年は機能評価にはじまり、バタバタと1年間が過ぎていきました。今年はもっと早いかもしれませんね。なにせ、元号が変わるのですから。元号の発表のある4月1日を楽しみにしながら、残り少ない平成を懐かしみつつ・・・「猪突猛進」、前に突き進みましょう。みなさん！！

(編集委員)

編集委員

委員長 奈須 伸吉

委員 塩月 洋子
有働 舞衣
長下 和裕

植村 徹也
梅木 祐
生野 充章

渡邊 公紀
竹之内須賀子
鶴崎 裕介

園田 美幸
森崎 久美
佐藤 剛

渋谷 充
姫野 里美

花木 祐介
國分 克典

今村 健二
亀之園照彦

外来診察医担当表

【平成31年1月1日現在】

■ 受付時間 8:30~11:00
■ 診察開始時間 8:30~

※予約の変更は月~金の各13:00~15:00にご連絡ください。
(総合支援センター) ☎ 097-593-1112 fax 097-528-9651

【一般外来】 ※連携医療機関の方は8:30~17:15に総合支援センター（地域医療連携部門）へご連絡ください。

診療科 曜日		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
代謝・内分泌内科		森田真智子	上野 大輔	上野 大輔 森田真智子	上野 大輔 森田真智子	上野 大輔 森田真智子
腎 臓 内 科				青木 宏平 (完全予約制)(午前中)		
膠 原 病 内 科				前島 圭佑(午前中)		
消 化 器 内 科 (肝センター)		大塚雄一郎 山下 勉 草津 工喜	豊田 亮 室 豊吉 山下 勉 大塚雄一郎(～10:00)	塩月 洋子 山下 勉 水内 梨絵	草津 工喜 山下 勉 塩月 洋子	水内 梨絵 大塚雄一郎 豊田 亮
工 コ ー		塩月 洋子	水内 梨絵	草津 工喜	有川 淳子	遠藤 美月
循 環 器 内 科		有川 雅也 古川祐太郎	有川 雅也 植村 徹也	山末 象三 植村 徹也	山末 象三 古川祐太郎	有川 雅也 古川祐太郎
呼 吸 器 内 科 (呼吸器センター) ※新患は紹介患者のみ		一宮 朋来 中野 哲治	一宮 朋来 中野 哲治	一宮 朋来 中野 哲治	中野 哲治 山末 まり	一宮 朋来 橋永 一彦
腫瘍内科(呼吸器)					西川 和男 ※受付時間8:30～11:00 診察時間8:30～	
外 科		梶島 章 河野 浩幸	穴井 秀明	田原光一郎 梅田 健二	梅田 健二 南原 翔	田原光一郎 渡邊 公紀
乳 腺 外 科		武内 秀也※	※第1・第3月曜日 受付時間13:30～15:30 診療時間13:30～16:30のみ			
呼 吸 器 外 科		(手術日)	高祖 英典	高祖 英典	(手術日)	高祖 英典
整 形 外 科		田畑 知法 曾根崎至超	田畑 知法 曾根崎至超	(手術日)	田畑 知法 曾根崎至超	田畑 知法 曾根崎至超
			河野 正典※	※第1・3・5火曜日 受付時間9:30～		
泌 尿 器 科	新患	紹介は「外来担当医」宛てでお願いします。 (新患受付)月・水・金は11:00まで、火・木は10:00まで。				
	再来	住野 泰弘 奈須 伸吉 中島 駿佑		甲斐 友喜 住野 泰弘 中島 駿佑		甲斐 友喜 奈須 伸吉 中島 駿佑
婦 人 科		岡田さおり	岡田さおり	岡田さおり	岡田さおり	岡田さおり
				西田 欣広※	※受付時間14:00～16:30 診療時間14:00～17:00	
放 射 線 科		中村 雄介	笠井 尚史(午前) 脇山 浩明(午後)	中村 雄介	笠井 尚史	中村 雄介
内 視 鏡 (胃腸センター)		豊田 亮 水内 梨絵	大塚雄一郎(10:00～) 塩月 洋子 草津 工喜	豊田 亮 大塚雄一郎	豊田 亮 大塚雄一郎 水内 梨絵	山下 勉 塩月 洋子 草津 工喜
内科系疾患で 専門診療科の判断が困難 な場合の担当科		消化器内科	代謝・内分泌内科	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科

【特殊外来のご案内】 ※完全予約制となっておりますので、下記にご連絡ください。

ひまん外来	毎週 金曜日 (祝日を除く)	診察時間14:00~16:00	TEL 097-593-1111 (内線235)
ストーマ外来	毎週 金曜日 (祝日を除く)	診察時間 9:00~12:00	TEL 097-593-1112 (内線497)
緩和ケア外来	毎週 水曜日 (祝日を除く)	診察時間11:00~12:00	TEL 097-593-1112 (直通)
フットケア外来	第2・第4 火曜日 (祝日を除く)	診察時間 8:30~11:00	TEL 097-593-1111 (内線235)



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構 認定病院

独立行政法人
国立病院機構

大分医療センター

<http://nho-oita.jp/>



〒870-0263 大分市横田2丁目11番45号 TEL097-593-1111 FAX097-593-3106 / 総合支援センター直通 TEL097-593-1112 FAX097-528-9651